

平成 17 年度 長崎大学 2 次試験前期日程 (数学問題)

平成 17 年 2 月 25 日

- 教育・工学部 ① ③ ⑤ ⑥ 数 II・III・B (120 分)
- 経済・水産・環境科学部 ② ⑤ 数 II・B (80 分)
- 医学部 ① ④ ⑥ 数 II・III・B (100 分)
- 歯・薬学部 ① ② ③ 数 II・III (100 分)

① 原点を O ，放物線 $C: y = x^2$ 上の 2 点 $P(-2, 4)$ ， $Q(1, 1)$ を通る直線を l ，線分 PQ を $t:(1-t)$ に内分する点を R とする。ただし， $0 \leq t \leq 1$ とする。さらに l と y 軸との交点を N とする。次の問いに答えよ。

- (1) l の方程式を求めよ。
- (2) R が第 1 象限に含まれるような t の値の範囲を求めよ。ただし，座標軸はどの象限にも含まれないものとする。
- (3) t の値が (2) で求めた範囲にあるとき， $\triangle ORN$ の面積を求めよ。
- (4) t の値が (2) で求めた範囲にあるとき， C ，線分 PR および線分 OR で囲まれた図形の面積を S_1 とし， C ，線分 RQ および線分 OR で囲まれた図形の面積を S_2 とする。 S_1, S_2 を t で表せ。
- (5) $S_1 : S_2 = t : (1-t)$ となるとき， t の値を求めよ。

② 円 $C: x^2 + y^2 = 1$ 上の点 $P(-1, 0)$ を通る直線 $l: y = x + 1$ および C 上の点 $Q(\cos \alpha, \sin \alpha)$ を考える。ただし， $0^\circ \leq \alpha \leq 90^\circ$ とする。 Q における C の接線 m と l との交点を R とする。次の問いに答えよ。

- (1) Q と R との距離が 1 以下となるような α の値の範囲を求めよ。
- (2) Q と R との距離が 1 のとき， l と m のなす鋭角 β について， $\cos \beta$ の値を求めよ。

3 $x > 0$ で定義される関数 $f(x) = \frac{\log x}{x}$, $g(x) = \frac{a}{x} + b$ を考える. ただし, a, b は定数とする. 次の問いに答えよ.

- (1) 関数 $f(x)$ の増減を調べよ.
- (2) 原点を通り曲線 $y = f(x)$ に接する直線 l の方程式と, その接点 P の座標を求めよ.
- (3) 曲線 $y = g(x)$ が P において l に接するような a, b の値を求めよ.
- (4) a, b が (3) で求めた値のとき, $0 < x < \sqrt{e}$ で $g(x) > f(x)$ となることを示せ. さらに $0 < x \leq \sqrt{e}$ と $y \geq 0$ の範囲で, 2 曲線 $y = f(x)$, $y = g(x)$ および x 軸によって囲まれた図形の面積を求めよ.

4 楕円 $E: \frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ ($a > b > 0$) と, E 上の点 $P(a \cos \alpha, b \sin \alpha)$ ($0 \leq \alpha < \frac{\pi}{2}$) を考える. P における E の接線を l_1 とし, これに平行で E の反対側にある接線を l_2 とする. さらに, l_1 と直交する接線のうち, E の上側にあるものを m_1 , 下側にあるものを m_2 とする. また, m_1 の接点を $Q(a \cos \beta, b \sin \beta)$ とおく. m_2 と l_1 , l_1 と m_1 , m_1 と l_2 および l_2 と m_2 の交点を, それぞれ, A, B, C および D とする. 次の問いに答えよ.

- (1) l_1, l_2 の方程式と辺 AD の長さ L を α で表せ. また m_1, m_2 の方程式と辺 AB の長さ M を β で表せ.
- (2) α と β の関係を求めよ.
- (3) $t = \tan^2 \alpha$ とおくととき, 長方形 $ABCD$ の面積 $S(t)$ を求めよ.
- (4) $S(t)$ の最大値と最小値を求めよ.

5 p, q, r を正の実数とし, $p > r$ とする.

$$f(x) = x^3 - (2p+r)x^2 + (p^2 + q^2 + 2pr)x - (p^2 + q^2)r$$

とするとき, 次の問いに答えよ.

- (1) $f(r)$ を求めよ.
- (2) x についての 3 次方程式 $f(x) = 0$ の解を求めよ.
- (3) (2) で求めた解のうち, 絶対値が最小のものを z_1 , 虚部が最小のものを z_2 とする. $\alpha = z_2 - z_1$ とし, 複素数平面上で点 α を原点の周りに θ だけ回転した点を β とする. α と β を求めよ.

《注》複素数 $a + bi$ (a, b は実数, i は虚数単位) に対し, b をこの複素数の虚部という.

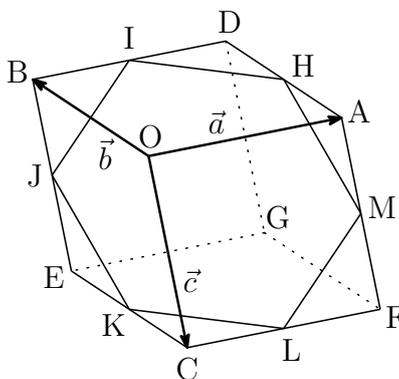
- (4) β が実数となるとき, $\tan \theta$ を p, q, r で表せ.

6 空間における 3 つのベクトル $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ が次の条件を満たしているものとする.

$$|\vec{a}| = |\vec{b}| = |\vec{c}| = 1, \quad \vec{a} \cdot \vec{b} = \vec{b} \cdot \vec{c} = \vec{c} \cdot \vec{a} = \cos \theta \quad (0^\circ < \theta < 120^\circ)$$

次に, 点 O を始点とするベクトル $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}, \vec{a} + \vec{b}, \vec{b} + \vec{c}, \vec{c} + \vec{a}, \vec{a} + \vec{b} + \vec{c}$ の終点をそれぞれ, A, B, C, D, E, F, G とする. さらに, 線分 AD, BD, BE, CE, CF, AF の中点を, それぞれ, H, I, J, K, L, M とする. 次の問いに答えよ.

- (1) $\vec{u} = \vec{IH}, \vec{v} = \vec{IJ}$ とするとき, \vec{u}, \vec{v} を $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ で表せ.
- (2) H, I, J の定める平面を α とする. K, L, M は α 上にあることを示せ.
《注》 P が α 上の点であるための必要十分条件は, $\vec{IP} = s\vec{u} + t\vec{v}$ (s, t は実数) と表されることである.
- (3) 多角形 $HIJKLM$ は正六角形であることを示せ.



解答例

1 (1) $y = -x + 2$

(2) P(-2, 4), Q(1, 1) を $t : (1-t)$ に内分する点 R は

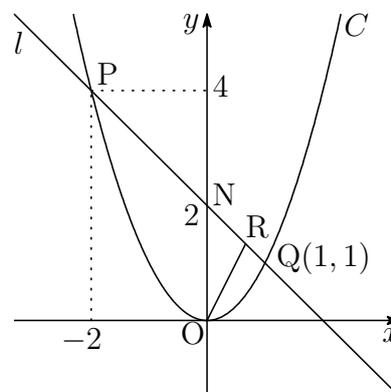
$$((1-t) \cdot (-2) + t \cdot 1, (1-t) \cdot 4 + t \cdot 1)$$

すなわち $(3t-2, -3t+4)$

R は第 1 象限にあるから

$$3t-2 > 0, \quad -3t+4 > 0$$

$$0 \leq t \leq 1 \text{ に注意して } \frac{2}{3} < t \leq 1$$



(3) (1), (2) の結果から, N の y 座標は 2, R の x 座標が $3t-2$ であるから

$$\triangle ORN = \frac{1}{2} \cdot 2 \cdot (3t-2) = 3t-2$$

(4) (3) の結果を用いて

$$\begin{aligned} S_1 &= \int_{-2}^0 \{(-x+2) - x^2\} dx + \triangle ORN \\ &= \left[-\frac{x^3}{3} - \frac{x^2}{2} + 2x \right]_{-2}^0 + (3t-2) = 3t + \frac{4}{3} \\ S_2 &= \int_0^1 \{(-x+2) - x^2\} dx - \triangle ORN \\ &= \left[-\frac{x^3}{3} - \frac{x^2}{2} + 2x \right]_0^1 - (3t-2) = -3t + \frac{19}{6} \end{aligned}$$

(5) $S_1 : S_2 = t : (1-t)$ であるから

$$\left(3t + \frac{4}{3}\right) : \left(-3t + \frac{19}{6}\right) = t : (1-t)$$

したがって $\left(3t + \frac{4}{3}\right)(1-t) = t\left(-3t + \frac{19}{6}\right)$

$$0 \leq t \leq 1 \text{ に注意して, これを解くと } t = \frac{8}{9}$$



2 (1)

$$l: y = x + 1$$

C の $Q(\cos \alpha, \sin \alpha)$ における接線 m の方程式は

$$x \cos \alpha + y \sin \alpha = 1$$

l と m の交点 R は

$$\left(\frac{1 - \sin \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha}, \frac{1 + \cos \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha} \right)$$

したがって

$$\begin{aligned} \overrightarrow{QR} &= \left(\frac{1 - \sin \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha}, \frac{1 + \cos \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha} \right) - (\cos \alpha, \sin \alpha) \\ &= \frac{1 - \sin \alpha + \cos \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha} (-\sin \alpha, \cos \alpha) \end{aligned}$$

$0^\circ \leq \alpha \leq 90^\circ$ より, $\frac{1 - \sin \alpha + \cos \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha} \geq 0$ であるから

$$QR = \frac{1 - \sin \alpha + \cos \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha}$$

$QR \leq 1$ であるから

$$\frac{1 - \sin \alpha + \cos \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha} \leq 1 \quad \text{ゆえに} \quad \sin \alpha \geq \frac{1}{2}$$

よって $30^\circ \leq \alpha \leq 90^\circ$

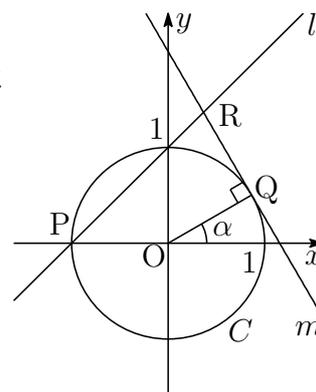
(2) l , m と x 軸のなす角は, それぞれ 45° , 60° であるから, l と m のなす角は

$$45^\circ + 60^\circ = 105^\circ, \quad 180^\circ - 105^\circ = 75^\circ$$

したがって, 求める鋭角 β は 75°

$$\begin{aligned} \text{よって} \quad \cos \beta &= \cos(45^\circ + 30^\circ) \\ &= \cos 45^\circ \cos 30^\circ - \sin 45^\circ \sin 30^\circ \\ &= \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} - \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{1}{2} = \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} \end{aligned}$$

■



3 (1) $f'(x) = \frac{1 - \log x}{x^2}$

$y = f(x)$ の増減表は、次のようになる。

x	0	...	e	...
$f'(x)$		+	0	-
$f(x)$		↗	$\frac{1}{e}$	↘

(2) $P\left(t, \frac{\log t}{t}\right)$ における接線の方程式は

$$y - \frac{\log t}{t} = \frac{1 - \log t}{t^2}(x - t) \quad \text{すなわち} \quad y = \frac{1 - \log t}{t^2}x + \frac{2 \log t - 1}{t}$$

この直線が原点を通ることから

$$\frac{2 \log t - 1}{t} = 0 \quad \text{これを解いて} \quad t = \sqrt{e}$$

よって $l: y = \frac{1}{2e}x, P\left(\sqrt{e}, \frac{1}{2\sqrt{e}}\right)$

(3) $g(x) = \frac{a}{x} + b$ を微分すると $g'(x) = -\frac{a}{x^2}$

$y = g(x)$ の P における接線が l に一致するから

$$g(\sqrt{e}) = \frac{1}{2\sqrt{e}}, \quad g'(\sqrt{e}) = \frac{1}{2e}$$

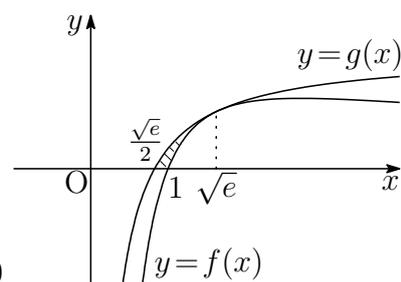
したがって $\frac{a}{\sqrt{e}} + b = \frac{1}{2\sqrt{e}}, \quad -\frac{a}{(\sqrt{e})^2} = \frac{1}{2e}$

よって $a = -\frac{1}{2}, b = \frac{1}{\sqrt{e}}$

(4) $h(x) = g(x) - f(x)$ とおくと

$$h(x) = -\frac{1}{2x} + \frac{1}{\sqrt{e}} - \frac{\log x}{x}$$

$$h'(x) = \frac{2 \log x - 1}{2x^2}$$



$0 < x < \sqrt{e}$ において $h'(x) < 0$, $h(\sqrt{e}) = 0$

したがって, $0 < x < \sqrt{e}$ において, $h(x) > 0$

よって, $0 < x < \sqrt{e}$ において $g(x) > f(x)$

求める面積を S とすると

$$S = \int_{\frac{\sqrt{e}}{2}}^{\sqrt{e}} \left(-\frac{1}{2x} + \frac{1}{\sqrt{e}} \right) dx - \int_1^{\sqrt{e}} \frac{\log x}{x} dx$$

$$= \left[-\frac{1}{2} \log x + \frac{x}{\sqrt{e}} \right]_{\frac{\sqrt{e}}{2}}^{\sqrt{e}} - \left[\frac{1}{2} (\log x)^2 \right]_1^{\sqrt{e}}$$

$$= \frac{3}{8} - \frac{1}{2} \log 2$$

■

4 (1) E の $P(a \cos \alpha, b \sin \alpha)$ における接線 l_1 の方程式は

$$\frac{(a \cos \alpha)x}{a^2} + \frac{(b \sin \alpha)y}{b^2} = 1 \quad \text{すなわち} \quad \frac{\cos \alpha}{a}x + \frac{\sin \alpha}{b}y = 1$$

l_2 は P と原点に関して対称な点における接線の方程式であるから

$$\frac{(-a \cos \alpha)x}{a^2} + \frac{(-b \sin \alpha)y}{b^2} = 1 \quad \text{すなわち} \quad \frac{\cos \alpha}{a}x + \frac{\sin \alpha}{b}y = -1$$

L は P から l_2 までの距離に等しいから

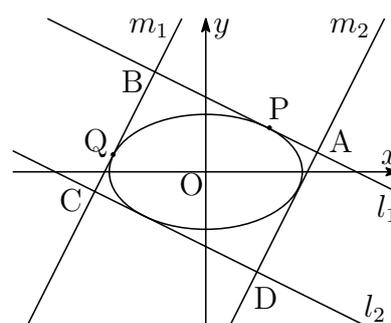
$$L = \frac{\left| \frac{\cos \alpha}{a} \cdot a \cos \alpha + \frac{\sin \alpha}{b} \cdot b \sin \alpha + 1 \right|}{\sqrt{\left(\frac{\cos \alpha}{a}\right)^2 + \left(\frac{\sin \alpha}{b}\right)^2}} = \frac{2ab}{\sqrt{b^2 \cos^2 \alpha + a^2 \sin^2 \alpha}}$$

m_1, m_2 および M は, l_1, l_2 および L の α を β にそれぞれ置き換えたものであるから

$$m_1 : \frac{\cos \beta}{a}x + \frac{\sin \beta}{b}y = 1,$$

$$m_2 : \frac{\cos \beta}{a}x + \frac{\sin \beta}{b}y = -1$$

$$M = \frac{2ab}{\sqrt{b^2 \cos^2 \beta + a^2 \sin^2 \beta}}$$



(2) l_1 の法線ベクトル $\left(\frac{\cos \alpha}{a}, \frac{\sin \alpha}{b}\right)$ と m_1 の法線ベクトル $\left(\frac{\cos \beta}{a}, \frac{\sin \beta}{b}\right)$ は垂直であるから

$$\frac{\cos \alpha}{a} \cdot \frac{\cos \beta}{a} + \frac{\sin \alpha}{b} \cdot \frac{\sin \beta}{b} = 0$$

よって $b^2 \cos \alpha \cos \beta + a^2 \sin \alpha \sin \beta = 0$

(3) (1) の結果から

$$\begin{aligned} S(t) &= LM = \frac{2ab}{\sqrt{b^2 \cos^2 \alpha + a^2 \sin^2 \alpha}} \cdot \frac{2ab}{\sqrt{b^2 \cos^2 \beta + a^2 \sin^2 \beta}} \\ &= \frac{4a^2b^2}{\sqrt{(b^2 \cos^2 \alpha + a^2 \sin^2 \alpha)(b^2 \cos^2 \beta + a^2 \sin^2 \beta)}} \end{aligned}$$

(2) の結果により

$$\begin{aligned} &(b^2 \cos^2 \alpha + a^2 \sin^2 \alpha)(b^2 \cos^2 \beta + a^2 \sin^2 \beta) \\ &= (b^2 \cos \alpha \cos \beta + a^2 \sin \alpha \sin \beta)^2 + a^2b^2(\sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta)^2 \\ &= a^2b^2 \sin^2(\beta - \alpha) \end{aligned}$$

P, Q の位置関係により, $0 < \beta - \alpha < \pi$ であるから

$$S(t) = \frac{4a^2b^2}{\sqrt{a^2b^2 \sin^2(\beta - \alpha)}} = \frac{4ab}{\sin(\beta - \alpha)}$$

ここで, 「 $\alpha = 0$ 」 「 $\beta = \frac{\pi}{2}$ 」 「 $t = 0$ 」 が同値であることを示す.

$t = 0$ のとき, $t = \tan^2 \alpha$ であるから, $0 \leq \alpha < \frac{\pi}{2}$ より $\alpha = 0$

これを (2) の結果に代入すると $b^2 \cos \beta = 0$ すなわち $\beta = \frac{\pi}{2}$

逆に, $\beta = \frac{\pi}{2}$ を (2) の結果に代入すると $a^2 \sin \alpha = 0$

$0 \leq \alpha < \frac{\pi}{2}$ であるから $\alpha = 0$ このとき $t = \tan^2 0 = 0$

(i) $t = 0$ のとき, $\alpha = 0$, $\beta = \frac{\pi}{2}$ であるから

$$S(0) = \frac{4ab}{\sin\left(\frac{\pi}{2} - 0\right)} = 4ab$$

(ii) $t > 0$ のとき, $\beta \neq \frac{\pi}{2}$ であるから, (2) の結果により

$$\tan \alpha \tan \beta = -\frac{b^2}{a^2}, \quad \tan^2 \beta = \frac{b^4}{a^4 \tan^2 \alpha} = \frac{b^4}{a^4 t}$$

したがって

$$\begin{aligned} \tan(\beta - \alpha) &= \frac{\tan \beta - \tan \alpha}{1 + \tan \beta \tan \alpha} = \frac{\tan \beta - \tan \alpha}{1 - \frac{b^2}{a^2}} \\ \tan^2(\beta - \alpha) &= \frac{\tan^2 \beta - 2 \tan \alpha \tan \beta + \tan^2 \alpha}{\left(1 - \frac{b^2}{a^2}\right)^2} \\ &= \frac{\frac{b^4}{a^4 t} + \frac{2b^2}{a^2} + t}{\left(1 - \frac{b^2}{a^2}\right)^2} = \frac{(a^2 t + b^2)^2}{(a^2 - b^2)^2 t} \end{aligned}$$

$$\frac{1}{\sin^2(\beta - \alpha)} = 1 + \frac{1}{\tan^2(\beta - \alpha)} = 1 + \frac{(a^2 - b^2)^2 t}{(a^2 t + b^2)^2}$$

したがって $S(t) = 4ab \sqrt{1 + \frac{(a^2 - b^2)^2 t}{(a^2 t + b^2)^2}}$

(i), (ii) から $S(t) = 4ab \sqrt{1 + \frac{(a^2 - b^2)^2 t}{(a^2 t + b^2)^2}}$

(4) (3) の結果から, $t = 0$ のとき, 最小値 $4ab$ をとる.

また, 最大値をとるとき, $t > 0$ であるから

$$\begin{aligned} 1 + \frac{(a^2 - b^2)^2 t}{(a^2 t + b^2)^2} &= 1 + \frac{(a^2 - b^2)^2 t}{(a^2 t - b^2)^2 + 4a^2 b^2 t} \\ &= 1 + \frac{(a^2 - b^2)^2}{(a^2 t - b^2)^2 t^{-1} + 4a^2 b^2} \\ &\leq 1 + \frac{(a^2 - b^2)^2}{4a^2 b^2} = \frac{(a^2 + b^2)^2}{4a^2 b^2} \end{aligned}$$

上式において, 等号が成立するのは, $t = \frac{b^2}{a^2}$ のときで, 最大値は

$$S\left(\frac{b^2}{a^2}\right) = 4ab \sqrt{\frac{(a^2 + b^2)^2}{4a^2 b^2}} = 2(a^2 + b^2)$$

解説

$Q(a \cos \beta, b \sin \beta)$ は, $P(a \cos \alpha, b \sin \alpha)$ によって決定するので, β は α の関数と考えてよい. したがって, $f(\alpha) = \sin(\beta - \alpha)$ とおくと

$$f'(\alpha) = \cos(\beta - \alpha) \cdot \left(\frac{d\beta}{d\alpha} - 1 \right) \quad (1)$$

また, (2) で得られた α と β の関係式

$$b^2 \cos \alpha \cos \beta + a^2 \sin \alpha \sin \beta = 0 \quad (2)$$

を α で微分すると

$$-b^2 \left(\sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta \cdot \frac{d\beta}{d\alpha} \right) + a^2 \left(\cos \alpha \sin \beta + \sin \alpha \cos \beta \cdot \frac{d\beta}{d\alpha} \right) = 0 \quad (3)$$

$f(\alpha)$ が極値をとるとき, (1) より

$$(i) \quad \beta = \alpha + \frac{\pi}{2} \quad \text{または} \quad (ii) \quad \frac{d\beta}{d\alpha} = 1$$

(i) $\beta = \alpha + \frac{\pi}{2}$ を (2) に代入して整理すると

$$\frac{1}{2}(a^2 - b^2) \sin 2\alpha = 0 \quad \text{ゆえに} \quad \alpha = 0, \beta = \frac{\pi}{2}$$

$$\text{したがって} \quad f(0) = \sin\left(\frac{\pi}{2} - 0\right) = 1 \quad \text{よって} \quad \frac{4ab}{f(0)} = 4ab$$

(ii) $\frac{d\beta}{d\alpha} = 1$ を (3) に代入して整理すると

$$(a^2 - b^2) \sin(\alpha + \beta) = 0 \quad \text{ゆえに} \quad \beta = \pi - \alpha$$

これを (2) に代入して整理すると

$$-b^2 \cos^2 \alpha + a^2 \sin^2 \alpha = 0 \quad \text{ゆえに} \quad \tan \alpha = \frac{b}{a}, \quad \tan \beta = -\frac{b}{a}$$

$$\tan(\beta - \alpha) = \frac{\tan \beta - \tan \alpha}{1 + \tan \beta \tan \alpha} = -\frac{2ab}{a^2 - b^2}$$

$$\sin^2(\beta - \alpha) = \frac{\tan^2(\beta - \alpha)}{1 + \tan^2(\beta - \alpha)} = \frac{\left(-\frac{2ab}{a^2 - b^2}\right)^2}{1 + \left(-\frac{2ab}{a^2 - b^2}\right)^2} = \frac{4a^2b^2}{(a^2 + b^2)^2}$$

$$\sin(\beta - \alpha) > 0 \quad \text{であるから} \quad f(\alpha) = \frac{2ab}{a^2 + b^2} \quad \text{よって} \quad \frac{4ab}{f(\alpha)} = 2(a^2 + b^2) \quad \blacksquare$$

5 (1) $f(x) = x^3 - (2p + r)x^2 + (p^2 + q^2 + 2pr)x - (p^2 + q^2)r$ より

$$f(r) = r^3 - (2p + r)r^2 + (p^2 + q^2 + 2pr)r - (p^2 + q^2)r = 0$$

(2) (1)の結果から, $f(x)$ は $x - r$ を因数にもつから, $f(x) = 0$ は

$$(x - r)(x^2 - 2px + p^2 + q^2) = 0 \quad \text{これを解いて} \quad \mathbf{x = r, p \pm qi}$$

(3) $p > r$ より $\sqrt{p^2 + q^2} > p > r > 0$ ゆえに $|p \pm qi| > p > r > 0$

したがって $z_1 = r, z_2 = p - qi$ よって $\alpha = z_2 - z_1 = \mathbf{p - r - qi}$

また $\beta = \alpha(\cos \theta + i \sin \theta)$

$$= (p - r - qi)(\cos \theta + i \sin \theta)$$

$$= \mathbf{(p - r) \cos \theta + q \sin \theta + \{(p - r) \sin \theta - q \cos \theta\}i}$$

(4) β が実数であるとき, (3)の結果から

$$(p - r) \sin \theta - q \cos \theta = 0 \quad \text{よって} \quad \mathbf{\tan \theta = \frac{q}{p - r}}$$



$$\boxed{6} \quad (1) \quad \vec{u} = \frac{1}{2}\overrightarrow{BA} = \frac{1}{2}(\vec{a} - \vec{b}), \quad \vec{v} = \frac{1}{2}\overrightarrow{AC} = \frac{1}{2}(\vec{c} - \vec{a})$$

$$(2) \quad \overrightarrow{OI} = \frac{1}{2}\vec{a} + \vec{b}, \quad \overrightarrow{OK} = \frac{1}{2}\vec{b} + \vec{c},$$

$$\overrightarrow{OL} = \frac{1}{2}\vec{a} + \vec{c}, \quad \overrightarrow{OM} = \vec{a} + \frac{1}{2}\vec{c}$$

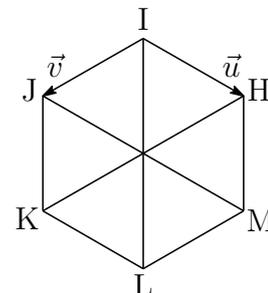
したがって

$$\overrightarrow{IK} = \overrightarrow{OK} - \overrightarrow{OI} = -\frac{1}{2}\vec{a} - \frac{1}{2}\vec{b} + \vec{c} = \vec{u} + 2\vec{v}$$

$$\overrightarrow{IL} = \overrightarrow{OL} - \overrightarrow{OI} = \vec{c} - \vec{b} = 2\vec{u} + 2\vec{v}$$

$$\overrightarrow{IM} = \overrightarrow{OM} - \overrightarrow{OI} = \frac{1}{2}\vec{a} - \vec{b} + \frac{1}{2}\vec{c} = 2\vec{u} + \vec{v}$$

よって、K, L, Mは α 上にある。



(3)

$$\overrightarrow{HI} = -\vec{u}$$

$$\overrightarrow{IJ} = \vec{v}$$

$$\overrightarrow{JK} = \vec{u} + \vec{v}$$

$$\overrightarrow{KL} = \vec{u}$$

$$\overrightarrow{LM} = -\vec{v}$$

$$\overrightarrow{MH} = -(\vec{u} + \vec{v})$$

$$\overrightarrow{ON} = \frac{1}{2}(\vec{a} + \vec{b} + \vec{c}) \text{ とおくと}$$

$$\overrightarrow{NH} = -\vec{v}$$

$$\overrightarrow{NI} = -(\vec{u} + \vec{v})$$

$$\overrightarrow{NJ} = -\vec{u}$$

$$\overrightarrow{NK} = \vec{v}$$

$$\overrightarrow{NL} = \vec{u} + \vec{v}$$

$$\overrightarrow{NM} = \vec{u}$$

このとき

$$|\vec{u}|^2 = \frac{1}{4}(|\vec{a}|^2 - 2\vec{a}\cdot\vec{b} + |\vec{b}|^2) = \frac{1}{2}(1 - \cos\theta)$$

$$|\vec{v}|^2 = \frac{1}{4}(|\vec{c}|^2 - 2\vec{c}\cdot\vec{a} + |\vec{a}|^2) = \frac{1}{2}(1 - \cos\theta)$$

$\vec{u} + \vec{v} = \frac{1}{2}(\vec{c} - \vec{b})$ であるから

$$|\vec{u} + \vec{v}|^2 = \frac{1}{4}(|\vec{c}|^2 - 2\vec{b}\cdot\vec{c} + |\vec{b}|^2) = \frac{1}{2}(1 - \cos\theta)$$

HI, IJ, JK, KL, LM, MH および NH, NI, NJ, NK, NL, NM は等しいので、多角形 HIJKLM は正六角形である。 ■